7-29

經理部長

第四部長

第三部長

會計課長

部員

副官

大臣

次官

參事官

廿八年七月廿二日起案

東京局長

局員

經理局長

主任局員

指令案

特陸第九〇三号ノ二特務班陸司令官

官房第二六六號ノ

每年

7-23-1

0344

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

上申ニ地丸ノ修理ヲ根拠地ニ於テ
起行ノ件認許ス
明治三十八年七月九日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

艦政本部

第四部長

特隊第九の三號

七月十七日

別紙國枝三池艦長ヨリ同艦修理上申ノ件ハ目下當根據地在泊ノ工作船トシテ同船一隻ニ止マリ内地ニ差遣修理セシムルノ機會無之事實上止ムヲ得サル義ト認メ候條御認許相成度此段上申候也

明治三十八年七月十三日於C地点台中丸

特務艦隊司令官井上敏夫

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

官房第二七六八號

海軍

司令長官

参謀長

機関長

副

水田

七月廿七日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

三池第二九七號

修理相成度義ニ付上申

別紙ノ通リ本船機関部修理方願出候ニ付テハ本船ノ任務上當地ニ於テ修理スルノ外地ニ使方無之候条当地ニ於テ施行方御認許相成度此段上申候也

明治三十八年七月十三日於C地矣

三池鉱業管海軍少佐國枝勝郎

特務艦隊司令官井上敏夫殿

追テ工費約参拾円材料費拾円竣工期三日間ヲ要シ候条

此段副申候也

海軍

0347

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

修理御願

一 ドンキーフイードポンプ スタッフヒッグボックス

右同貫ヲ以テ修理仕度候也

費用ハ日本郵船株式会社ヨリ支拂可致候

明治三十八年七月十六日

三池丸船長 石川迪三郎

三池丸ニ於テ海軍少佐

関技師ヘ

殿

日本郵船株式會社

0348

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

7-2-5

横賀鎮守府電話筆記用紙

軍務局 軍令部 艦政本部

明治三十八年 月 日午前七時 分受

海軍省

本日午前九時より陸水艦隊受領
式挙行の件閣議に三日三時伺ひ
ずみ付其旨貴官へ伝達ありたし

松村大佐

0349

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

吳鎮第二八號

艦政本部

第四部長

第三部長

會計部長

供覽濟

軍務局長

軍令部長

一第拾貳號艦載水雷艇流走力公試成績表 壹通

右本艦ノ成績ニ依リ別紙ノ通調製提出ス之ニ付進達ス也

明治三十八年七月二十五日

吳鎮守府司令長官 有馬新一

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

海軍

0350

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

7-28

軍務

電報 達紙

着局		発局				
受信取扱者	受信 午前/午後 十時	受付 午前/午後 九時	第	号	局	報
	分	分	日			
	字					

受信人居所氏名

タイ[illegible]
ヤマモト
[illegible]ベイ

指定

記事

タ[illegible]ニフノテヨロシ

試運轉ノ爲メ
長崎出航
月[illegible]日[illegible]

連

艦長

発信人居所氏名	注意
サリ	他人ヘ宛タル電報ノ配達ヲ受クタルモノハ此由ヲ符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局ヘ返戻スベシ 決[illegible]本人ヘ直接[illegible]渡シスベカラズ

0351

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覧

軍務局長

艦政本部長

第四部長

キール据付の件

本月二十五日水雷駆逐艦白妙ノキール据付ニ着手仕候間此段届申上ル

大正八年七月廿九日

東京市麹町区八重洲町一丁目一番地

三菱合資会社造船所機械部社員

石崎久彌

海軍艦政本部長齋藤實殿

0352

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

東京大学史料編纂所

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

7-30

第四部長

第三部長

會計課長

總務部長

副官

參事官

大臣

次官

廿八年七月十九日起案

軍務局長

局員

經理局長

主任局員

指令案

官房第二七三一號ノ二

特務第九七二号 運送船剣山

海軍

七月八

0354

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

九修理工事ヲ工作船三池丸ニ於テ施行方特ニ恩許ス

明治三十八年七月卅日

官房第二七三二號ノ三

運送船創山丸右舷罐「スクリューステー」漏水ノ所修理工事ヲ工作船三池丸ニ於テ施行方特務艦隊司令官ヨリ上申ニ付特ニ恩許ス後条式旨心得ベシ

明治三十八年七月卅日

大臣

吳鎮守府司令長官宛

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

司令長官 参謀長 参謀 副 永田

特隊第九〇二

七月十五日達

別紙創立委員ヲ指揮シ附屬港務部長ノ任務ニ当ラシメ
修理班ヲ置キ其下多数ノ船舶ヲ集合ス際
シ給与任務多ク所ノ仕事ヲ止ム得サル
ヲ以テ工作船ヲ迅速ニ於テ工員ヲ施行ス敬
言ス次ニ詳細ハ別紙ニ記載ス

昭和十年四月三日 於呂地兵

特務艦隊司令官 倉鍋

第三部長

第四部長

艦政本部

海軍大臣 岡田啓介殿

海軍

當廣第二七三一號

0356

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0356

特務艦隊幕僚符号用紙

別紙臨時軍費ノ支出ニ関スル件ニ関シ其筋ニ於テモ其当時日本海海戦ニ於ケル艦隊ノ混雑ノ極ノ如キ昨年十月十五日ノ電信第四八六九号ヲ以テ大佐ヨリ直ニ艦隊司令長官ヘ訓令ヲ与フルヲ適当ト信ジタルモ一時ノ急ニ属スル事ニシテ其後ノ作戦ニ於テ第三艦隊ヲ本籍鎮守府ノ所管ニ属スル旨ノ訓令ヲ掲ケ本年度ニ至リ本案ノ如キ事務ノ遅延ヲ来ス次第ト認メラルルニ付テハ今ヲ以テ万無遺漏ヲ期スルノ必要アリト認ム

海軍省副官殿

特務艦隊参謀

0357

醫港九ヶ所

軍屋所創設及機関等修理請求

右所管「ファリーステー」屋外個所

別紙ノ通リ修理請求ス

右修理相当度ト認ム

明治三十年一月十一日

陸軍附屋港務部長松村直臣

三井九ヶ所長平野鉄三郎殿

0358

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

上

0358

皇室典範

0359

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

剣山ニ於テ
機関車修理所
左記
修理所ニ相当ス
明治三十八年一月廿日
剣山及陸上猶予借金
松村聯合艦隊港務部長

海軍

0360

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

創山及ビ右所ヘクリーストテー瀉水制水造特事業

二千九百三十八円五十五銭

二千六百八十円五十銭

内訳

明治三十一年度	金額	内訳	合計
三千五百八十銭	二千五百円	三百七十円	二千五百円
三千四百八十銭	二千五百円	四百三十円	七百五十円
三千五百十銭	二千五百円	二百七十円	二百五十円
八百七十銭	一百七十円	一百七十円	一百円
七百六十銭	一百七十円	五百八十円	七百五十円

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

七拾三銭	六拾六銭	六拾四銭	六拾三銭	六拾八銭	六拾五銭	六拾五銭	六拾四銭	六拾八銭	右二面ノ
二五〇〇	一五〇〇	一三七〇〇	一五〇〇	一五〇〇	二〇〇〇	一五〇〇	二六五〇〇	二〇〇〇	明治三十八年五月廿
二五〇〇	七二五〇〇	一二五〇〇	四〇〇〇	七二五〇〇	二〇〇〇	二二五〇〇	一二五〇〇	三〇〇〇	
一八〇〇	四七八〇〇	七二〇〇	四二〇〇	二四八〇	一四二〇〇	一四九〇	一四七五〇	一六八〇	

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

使用材料調書

使用材料 筆名称

台所スクリーンスクリー 揚水

品名 寸法 数量 単價 金額

真鍮製銅基 至三り 四〇〇〇

直具用銅 八〇〇〇

三色 松六一 三〇〇〇〇

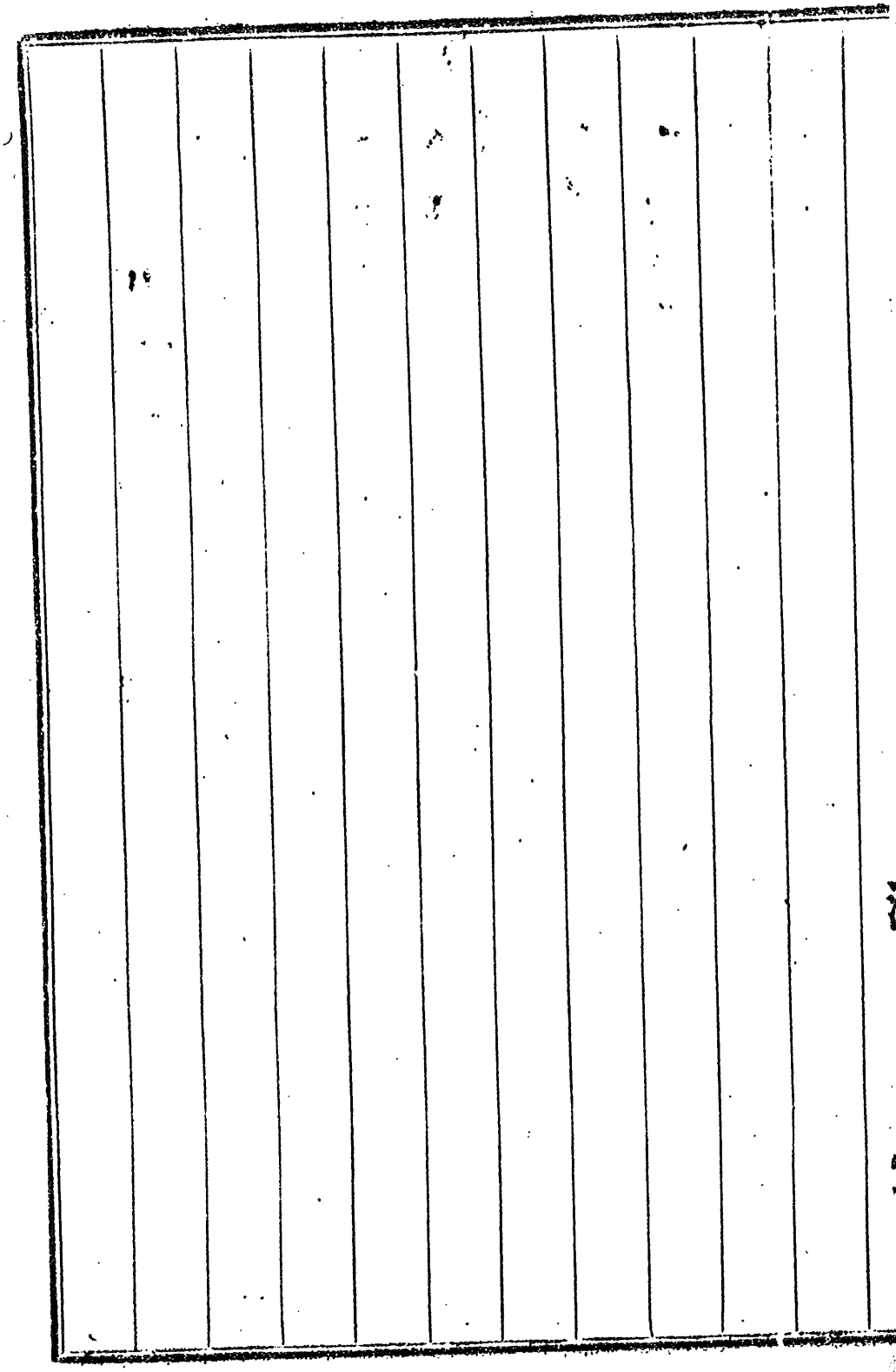
白 交由一 一〇〇〇

上等 杉長本 一〇〇〇〇

右之通り

明治三十八年 七月廿一

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



0364

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

軍務 軍令部 艦政本部

電報 遞

0365

發局							着局		
報局	局	號	日	受付 午後	分	字	受信 午後	時	分
友	[illegible]	第一七	一月一日	午後	一	七	午後	七	分

受信人居所氏名

[illegible]

指定

エクシヘヲククホシクキヨ、テリ

記事

駆逐艦追風本日起工

[illegible]

舞鶴長官

意注

他人ヘ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所ヘ返戻スベシ決シテ其受取人ヘ直送又ハ手渡シスベカラズ

發信人居所氏名

八月二

進達

機密第三号

第八六六三

報告

駆逐艦野分八月一日起工（キール据付）致候條以段及報告候也

明治廿八年八月一日

佐世保海軍工廠長向山慎吉

佐世保海軍工廠長印

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

各部

供覧

軍務局長

局員

参謀長

矢野

佐鎮副官

佐鎮第受付八月一日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

8-2

軍務局

艦政本部

電報訳　三十八年八月三日

大臣宛　中之部隊司令官

浪速ヲ仮泊ニ回航ノ際定ヲ以テ佐世保ニ回航ノ際威海衛ヲ仮泊ニ回航ノ際ホワイトヘッドル水雷ヘ摩

各部隊ニ指定

0367

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

電報送達紙

局着		局發				
受信取扱者	受信 午前/午後	字	受付 午前/午後 八時 分	日	第 號	局	報

受信人居所氏名

指定

記事

發信人居所氏名

注意

他人ヘ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所ヘ返戻スベシ又ハ其受取人ヘ直送シ又ハ手渡シスベカラズ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

8-5

海軍

伺

供覧

軍務局長

第四部長

會計課長

部員

司令長官

参謀

機関長

副

富士機密第四六

局員

汽艦八塚丸ノ件ニ関シ富岡本船様
関係機関ニ於テ意見連絡ノ上
昭和三年八月十日
富士艦長 杉本
第一艦隊司令長官東郷平八郎殿

0369

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

0369

戰況ニ鑑ミ水筒式汽罐ニ兩樽ニ代ヘ

0370

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

富士機密第四七〇号

流雄入換之件ニ付本艦機関長富岡
海軍機関大監より別紙之通意見提
出候處適當ノ所見ト相認候條進
達仕候也

明治廿八年八月五日

富士艦長松本和

海軍大臣男爵樺山資紀殿

海軍

0371

年俸、今回之ヲ要スルニアラサレトモ攻撃
修理ノ為メ屠々之ヲ書熟セシメ且ツ其
凸起部、溝槽カリテ使ヒタリ其強力ヲ
殺キタルカ故ニ其性変形シ易クナリタル
認ムルヨリ故ニ其向ニ於テ修繕ノ取扱
方法ヲ講究アランコトヲ希望ス

山本海軍艦隊機関長

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

汽罐入換ノ件ニ付意見

本艦主汽罐ハ従来数々爐筒ノ膨垂ヲ生シ其都度之ガ壓止ケ工事ヲ施行シタルモノニシテ避ケ可カラザル自然ノ結果ト雖ニ施行上ノ注意周到ナラザリシモノ在リタルガ故ニ「パーブ」式ノ講ハ次第ニ其深サヲ減シテ其幅ヲ増大シタルガ為メニ爐筒ハ著シク過敏性トナリ微細ナル油滓ノ附着ヲ以テスルモ動モスレバ小ナル変形ヲ發生シ易キノミナラズ本戦役中ハ水管式汽罐ヲ有スル他ノ新式戦艦ト高速力ヲ以テ同列中ニ行動スルガ故ニ往々円筒式汽罐ノ堪ヘ得可カラザル急激ナル負荷ヲ受ル事在リテ一層変形ヲ発生スルノ機會ヲ増加シ取扱上極メテ大ノ注意ヲ要セリ而シテ之ヲ汽罐ノ現況ニ依リテ判断スレバ平時ニ於テハ使用状態ヲ以テスレバ尚ホ能ク六七年間ハ今日ノ効力ヲ維持スル事ヲ得可シト雖モ戦時使用ノ有様ヲ以テスレバ近キ將来ニ於テ炉筒及燃焼室ノ取換ヲ要スルニ至ル可シト認ムルヲ以テ其節ニ於テハ今ヨリ徐々ニ相當計畫ヲ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

着手セラレン事ヲ希望ス

爐筒及燃焼室ノ取換ヲナスレバ罐胴、鏡板等ノ現状ハ尚ホ指ンド完全ナルヲ以テ汽罐ハ能ク新造當時ノ能力ヲ發揮シテ張壓通風金力ノ使用ニ堪フ可シト雖モ本艦ヲシテ向来尚ホ戦艦トシテ戦鬪場裡ニ馳駆セシメント欲セバ一歩ヲ進メテ断然水管式汽罐ニ換裝スルヲ得策ナリト認ム

本艦ハ主汽罐ヲ水管式ニ換裝シタルガ為メニ生ス可キ石炭消費額增加ニ應スルタメニ別ニ炭庫ヲ增設スルノ余積ヲ有セザルヲ以テ現用ノ副罐ハ尚此位ニ使用シテ以テ航海中ニ於ケル石炭ノ消費ヲ節約スルヲ必要ナリト思考ス副罐ノ現状ハ火ケ脩理ヲ加ヘズシテ尚ホ十年間ハ使用シ得可ク又其架度ハ三十六平方吋ノ面積ヲ有スルヲ以テ日用ノ發電機、補助復水器ノ送水機械、諸喞筒機械、艦内通風機械等ヲ併用シテ尚ホ同時ニ内筒砲射撃ノタメニ水壓機械ヲ以テ砲塔ノ旋廻、砲ノ俯仰等ヲ行フ事ヲ得、

右意見提出ニ及候也

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明治三十八年八月五日

富士艦長松本和殿

富士艦長富岡延治郎

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

注

0376

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

横須賀鎮守府電話筆記用紙

明治三十八年 八月 九日午前九時三十分受 海軍省

軍務局

軍令部 第三部 第四部

軍務初霜試運轉ノ為メ午前七時出港午前七時五十五分帰港

0377

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

8-14

横須賀鎮守府電話筆記用紙

明治三十八年 八月十七日午前七時二十五分受

海軍省

軍務局

軍務第四部

軍務第三部

軍令部

軍艦初霜竣工試運轉為差

0378

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

8-14

電報送達紙

軍務局 艦政本部

0379

受信人居所名氏	発局	第三號	日	分	着局	受信午前午後	分
知ラセル							

横鎮参謀長

ヨム

注意 他人ヘ宛タル電報ノ配達ヲ受クタルモノハ此由ヲ符箋シ此ヲ配達シタル電信局所ヘ返戻スベシ 決シテ受取ルヘカラズ

指定 第三部

初霜公試運轉結果良好
速力二十八回轉三百七十七
大砲水雷ノ公試発射ヲ
行フ

八月十四日於一二五番

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

供覽 濟

軍務局長

艦政局部長

第三部長

第四部長

局員

キール据付御原

水雷駆逐艦白雪キール去五月二十六日据付ゝ着手

仕様書ノ如ク段々原ヲ以ヤ

明治卅八年八月十七日

東京市麹町区八重洲町一丁目一番地

三菱合資会社業務擔當社員

岩崎久彌

海軍艦政本部長齋藤實殿

三菱合資會社

0380

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

供覧

軍務局長

総務部長

第四部長

第三部長

會計課長

軍令部長

教育部長

平成二年二月六日

昭和八年八月廿三日

佐世保海軍工廠

あて平成改年部

第二部長

部員

0382

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

軍令部長
次長
第四部長
部員
艦政本部長
第三部長
會計課長
第一部長
副官
參事官
大臣
次官
軍務局長
局員
經理局長
局員

廿八年八月廿二日起案

軍令第壹號

訓令案

官房第三一七四號

軍令部長

海軍

0383

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

其間ニ完全ニ修理ヲ遂行シ尚其ノ期間ニ於テ同艦機械ニ能フ限リノ修理ヲ施スベシ

但重量増減及入費概算取調申出ベシ

又船體部工事ニテ将来著変ヲキタスモノ及

潤査中ノモノモ亦タ又期間内ニ竣工セシ

ムル様取計フベシ

明治三十八年八月廿三日　大臣

横須賀鎮守府司令長官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

期シ完全ニ修理ヲ施行シ尚其ノ期間ニ
[illegible]ニ調査中ノ機械ニ就テハ限リノ修理ヲ施
[illegible]船體部諸工事ヲ結了セシメ且
[illegible]追テ重量増減及入費概算等取調申
出ヘシ

明治三十八年八月

明治三十八年八月廿三日　大臣

横須賀鎮守府司令長官

0384-2

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

軍務局　局長　第四部　會計課長

電報送紙

0385

着局		發局		
受信 取扱者 局員	受信 午前/午後 〇時 分	字	受付 午前/午後 〇時 分	月 日 第 號 局 報

受信人居所氏名

指定

記事

カタヘイキノカテクワツセルヒトリハ一ヶ月ニ一ヒテデヲスルモノ

茶

畫岐ノ鑵完全修理ノ十一月廿一日ヒノ要ニ見込

横、工廠

意注

他人ヘ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所ヘ返戻スベシ決シテ其受取人ヘ直送シ又ハ手渡シスベカラズ

發信人居所氏名

カ

陸軍大臣

電報

軍艦壹岐ノ罐完全ニ修理ス
事ヲスルトセバ何日間ヲ要スヤ返
答ヲ
三十八年八月
横、工廠

海軍部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

供覧

軍令部長

軍務局長

艦政本部長

第三部長

第四部長

會計課長

部員

艦本第二四三六號

軍艦壹岐ハ向後命令ノ調査ヲ遂ゲラルル迄
修理ヲ止メラルル事ニ決定セラルルニ就テハ今回
兵器部船体部修理工事ハ數ノ範囲内ニ於テ
左記諸項ノ通リ機関部ノ改造ヲ要シ
ル条工事入費概算取調提出
相成度

三十八年八月十四日

本部長

経理局長宛

追テ左記工事ハ今回ノ修理工事ハ數ノ範囲

八ノ十三日

校

合

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

内ニ於テ施行シ得ベクト存ズル第一施行シ難キ点及ビ改良シ得ベキ分ト就キ内示調ノ上其事項併セテ内通知者（云申添ル

一、蒸氣往復ノ段良ク計ル高中壓汽筩ノ「ライナー」ヲ示特ベ其直徑ヲ七十五吋及五十四吋トナスコト

二、高壓汽筩内ノ最高蒸氣壓力ハ毎平方吋百五十「ポンド」ト定ムルコト

三、現在ノ鍛物器ヲ廢シ鑄鉄製直立式円形

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

復水器ヲ以テ之ニ代ユルコト但シ管ノ直径ハ八分ノ五
時ニシテ両脚復水器ノ総冷面積凡ソ八千二百
平方呎タルベシ
四、各主機室ニ在ル二台ノ抽氣喞筒ノ内壁ヨリ
所ノ除クコト
五、主排汽管及抽氣喞筒ノ吸口管及送出管
ノ適宜ノ直径ニ減縮スルコト
六、抽氣喞筒ノ脚外還出管及軸ノ廢シ外ノ溝
ニ適宜ノ安全法ヲ設クルコト
七、蒸他類器弐台ヲ減ズルコト
八、喞筒弐式種ノ年班ト對比シ必要鈍ノ方

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

うせん分より殘シ仕ル悪り取除クもト

0390

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/